

新市立病院建設は地域医療計画策定後に進めよ

質問

建設にあたって「議会がすべて了承している」と会報や会議で言われていると聞いている。議会は総合計画とコンサルタントに依頼する予算には賛成しているが、すべてに賛成している訳ではない。

一度立ち止まって県、市、金ケ崎町、三師会、県立病院など医療関係者等で「協議の場」を設け、医師確保の問題、胆江地区にない、あるいは少ない科の周産期医療、脳外科、小児科、救急医療の対応や、将来の病床の必要量を達成するための方策など話し合い、開業医も含め各病院の役割分担を明確にし、地域医療計画を策定してから進めるべきではないか。

市長

三師会が有識者会議に出席し、様々なアドバイスをいただけるように丁寧に説明しお願いをしたい。大方の市民が納得できるような計画にして進めたい。

質問

新病院建設には100億円の建設費と、現在毎年、年間15～16億円もの一般会計繰り出し金が必要な現状から、30

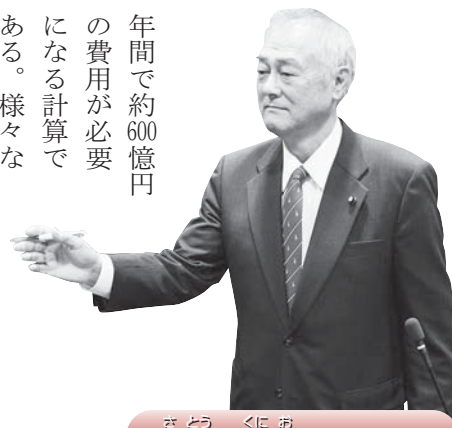


移転建設が議論になっている総合水沢病院

年間約600億円の費用が必要になる計算である。様々な要因でさらに経営が良くなるとは考えにくく、夕張のようになる可能性がある大きな問題である。次期市長選挙では争点の一つにして欲しい。

市長

現在、外部有識者会議を設置し、検討を進めている状況である。新病院はあくまでも市民合意を得た上で進めていく。



さとう くにお 佐藤 邦夫 議員(市民クラブ)

請願の審査内容

定例会において付託のあった請願について、所管委員会で審査しました。審査結果は次のとおりです。

番号	請願名	請願者	審査内容	審査結果	所管委員会名
請願第38号	私学教育を充実・発展させるための請願	私学助成をすすめる 岩手の会 会長 土屋 直人 ほか1名	依然として公立と私立の学費格差は大きく、公費負担額の差についても解消に向かうべきであり、公立でも私立でも学費を心配せずに生徒が安心して学べる環境にしていくためにも、今後も助成は必要であるとの観点から、採択。	【採択】 意見書 提出	教育厚生 常任委員会

【お詫び】

奥州市議会だより第46号（平成29年10月26日発行）の一部に誤りがありました。

訂正内容は次のとおりです。お詫びして訂正いたします。

● 7 ページ質問議員の紹介目次

(訂正前)

8 佐藤 邦夫
(市民クラブ)

(訂正後)

8 佐藤 郁夫
(市民クラブ)

佐藤洋氏(新世会)議員辞職

平成29年11月29日、一身上の都合により議員を辞職しました。平成26年3月の初当選から3年8か月務めました。

【議会人事】

佐藤洋議員の辞職に伴い、次の役職について選任しました。

* 岩手県後期高齢者医療広域連合会議会議員
鈴木 雅彦 (奥和会)